

施工方法（フリーアクセスフロアへの施工）

■ 施工の前に

下地パネルの施工はすべて完了しておきます。表面を美しく保つには下地パネルの段差は1mm以下、隙間は2mm以内に抑えてください。この限度を超える場合は、パネル設置業者に再調節を依頼する必要があります。調節が不完全でも、施工後破損等が生じることはありませんが、パネルの目地や段差がタイル表面に現れ、著しく美観を損ねます。

■ 環境条件

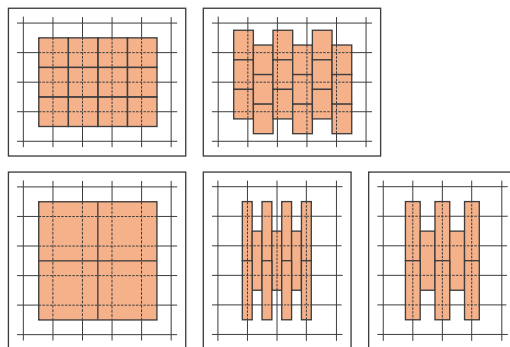
施工時、室温は15℃～35℃を維持してください。あらかじめ室内に《置敷きビニル床タイル》を保管し、室温になじませてから施工します。接着剤が効果を発揮するまで室温を保ちます。

01 割付け またぎ貼り（1/2スライド工法または1/3スライド工法）

パネル目地とタイル目地を交互にオーバーラップさせる（またぎ）ように、1/2または1/3スライドさせて敷設します。こうすることでパネルの段差の影響を少なくすることができます。

レイアウトの変更や配線処理の際、1/2スライド工法（1/3スライド工法）であれば、表面材の《置敷きビニル床タイル》を4～6枚剥がすだけでパネルを剥がすことができます。また、水などの液体が直接パネル下にこぼれ落ちるのを低減します。

フリーアクセスフロアパネル寸法が500mm×500mmの場合。



02 裁断

一般のビニル床タイル同様にカッターナイフで裁断できます。ただし、ガラス繊維層が埋め込まれているので、コンポジションビニル床タイルのように割ることはできません。確実にカッターナイフの刃を通してから裁断してください。

03 接着

フリーアクセスフロアに施工する場合は、接着剤（エコGAセメント）または（エコGAセメントEX）をスポンジローラーで全面塗布します。

接着剤は多めに塗布してください。特にパネル端部の吸水性部材上には注意が必要です。

パネル目地、支持脚の固定ネジなどへ接着剤が流れないように注意してください。

余分な接着剤は水で拭き取ってください。



接着剤が半透明になるまで待ち時間をとります。

待ち時間が短すぎると、ピールアップ効果が減少します。

・接着剤が塗布不足にならないように注意してください。

・糊の固まった使い古しのローラーは使用しないでください。

■ 接着剤

- ・指定接着剤 〈エコGAセメント〉・〈エコGAセメントEX〉
- ・待ち時間 接着剤が半透明になるまで
- ・標準使用量 エコGAセメント・エコGAセメントEX
吸水性下地（モルタル等）60～100g/m²
非吸水性下地（ビニル床タイル等）40～60g/m²

エコGAセメント・エコGAセメントEXは剪断応力と剥離強度に優れ、歩行や台車の往来による横ズレや剥離を防ぎます。また必要に応じて簡単に剥がすことが可能。剥離後も裏面にゴミなどが付着しない限り、粘着性を維持します。

04 貼付け

室内のほぼ中央に、貼り出しラインを墨出しします。



ラインに沿って《置敷きビニル床タイル》をゆるく貼付けていきます。

●ルースレイ50NW-EX、ルースレイマスターNW-EX（寸法：500mm×500mm）における標準施工は流し貼りでも市松貼りも可能です。

●ルースレイ50NW-EX（寸法：1000mm×1000mm）における標準施工は流し貼り、またはリバース貼りです。

●ルースレイ50NW-EX（寸法：166.7mm×1000mm／333.3mm×500mm／250mm×1000mm）、ルースレイマスターNW-EX（寸法：166.7mm×1000mm）における標準施工は流し貼り、またはブリック貼りです。

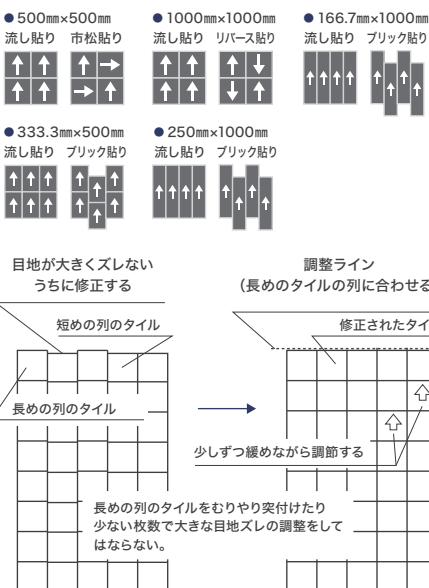


詰めすぎは突上げの原因となります。



パネルの段差や目地スキの不陸が大きいと、施工中に目地ズレが生じる場合があります。5～10枚程度施工してから再度調整ラインを設定し、調整します。この時も詰めすぎないように注意します。

タイルカーペットと突き合わせて施工する場合は、目地ズレが生じやすいため、調整ラインを必ず設けてください。



05 施工完了